

No. 20



発行日 平成 28 年 12 月 1 日
 発行 山潟地区コミュニティ協議会
 総務部会
 事務局 山潟会館内
 ☎ 025-286-0155
 FAX 025-286-0245
 新潟市 補助事業

MYコミ協 やまがた

やまがた朝市



去る八月七日(日)午前八時より、初めての試みとなる「やまがた朝市」が開催されました。そこで、「やまがた朝市」の企画、実行の中心となった方にお話を伺いました。

どのような事で今回の企画を考えられたのですか？

年度末の部会反省会の席上、新年度の活動計画について自由に話し合いました。その時経費も掛けずに出来る「朝市」の発想が生まれました。

今年度開催でなく来年度に向けて準備するつもりでしたが会場に予定していた越前水産(株)支配人から了承頂き、農業バイオ専門学校や近隣農家の方々にアンケートしたところとん拍子に進み八月七日開催する運びになりました。

この企画の実施する上で最も大変だった事は何ですか？

初めての企画だったので何人のお客が来るのか？農作物はどの位

用意すれば良いのか？が一番迷い、気を遣いました。お客様も出品される農家や専門学校の生徒さんも喜んで頂くのが一番で皆が喜ばば継続して行く事が出来ます。「兎に角やってみよう」の精神でした。

今後の展望はどのように考えていますか？

開催するにあたって高志中等教育学校書道部に無理言って横断幕を揮毫して頂きました。立派な横断幕が出来喜んでいますが、この幕に恥じない様に長く継続して行ける体制を検討して行きたいと思っています。

今回開催するに際しご協力頂いた全ての方々に御礼申し上げます。

お話を聞かせていただきありがとうございました。

※十一月五日(土)第二回の山潟朝市が行われ大盛況でした。



販売風景



参加者全員で

山潟地区コミュニティ協議会 二十八年度総会

五月二十八日(土)、山潟会館二階大ホールにて、平成二十八年度山潟地区コミュニティ協議会総会が行なわれました。

今年度は、規約改正の準備を行っての事やコミュニティ協議会十周年記念事業を検討している事、また、各専門部会の活動内容の報告など様々な議題に基づき議事が進んでいき、活発な意見交換がなされ閉会となりました。

総会終了後には懇親会が行なわれ、その中で参加された皆さま、それぞれ親睦を深め散会となりました。



カナール彩2016

四月十七日(日)、恒例となりました、カナール彩2016が行われました。

当日はあいにくの雨模様でステージ関係のイベントは、ほとんどが中止となり、午後のウォークも中止となりました。

そのような中、三時間リレーマラソンは予定通り行われ、当山潟地区からは山潟中学校男子バスケットボール部の選手や、桜が丘小学校の児童、先生、保護者の混合チームが参加、大いに盛り上がっていました。



ボランティア風景



リレーマラソン



また、ボランティアとしても、山潟中学校の生徒さんが数多く参加され、運営に協力していました。また、熊本地震の復興募金の協力もしていました。当日参加され、手伝われた皆さん、ご苦労さまでした。

「春の全国交通安全運動」 下校指導参加

交通対策部会では、四月八日(金)「下校指導」、四月十一日(月)「春の全国交通安全運動」に参加しました。



下校指導



春の全国交通安全運動

やまがたお互いさまネットワーク
ボランティア説明会
及び研修会

誰もが住み続けたい「元気で安心な山潟地区」を実現するために、一人ひとりが支え合い、助け合うことが主な目的のやまがたお互いさまネットワークは、七月三日に一般ボランティア説明会と研修会を開催いたしました。

説明会では、活動状況の報告で、雪かき、電球の取替作業、荷物の移動などの依頼がありました。また、中学生のごみ捨て支援状況は、中学一年生からの新たな登録をうけ利用者さんとのマッチングをする予定であり、前年度活動して得たお金は、生徒達で考えワイヤレスマイク二本を学校へ寄付したとのことでした。



研修会は中央区社会福祉協議会と包括支援センターから「認知症はこわくない？」と題して説明と寸劇をして頂きました。これは



認知症サポーター育成講座をかねておりました。この機会に山潟地区の住民にも一緒に説明を聞いてもらいたく、各自治

会に回覧をしてみましたところ、約二十名の参加があり（一般ボランティアは三十四名参加）、認知症への不安、対応の仕方を知りたいなどで参加されたようです。

その後、茶話会では自治会ごとや近い自治会でグループにまとまり、それぞれ顔の見える話しやすい場をつくり、いろいろな話をされています。この機会に一般ボランティアに登録してくれた人が2名もいて、うれしい限りでした。体力と時間がある時は、ボランティアで活動し、いつか利用者に成つたら、気兼ねなく使いたい。そういうお互いに助け合う仕組みが山潟地域全体で出来たら嬉しいです。



平成二十八年年度第一回
「健康講座」を終えて

先ごろ厚労省が発表した日本人の平均寿命が平成二十七年では女性が八七・〇五歳、男性が八〇・七九歳でここ数年〇・二から〇・三歳程度ずつ増え続けています。この状況が向う十年も続くと日本は介護大国になるとの報道もあります。これらをふまえて、今回の「健康講座」は介護問題をテ



マにして開催しました。当山潟地域で最大の介護施設を運営する特別養護老人ホーム江東園から講師二名を派遣していただき、介護現場の抱える課題や諸問題、介護保険制度の理解と利用の手引、具体的に説得力のあるお話がありました。又車椅子の使用でも気をつけたい事、安心して乗っていただく心得等も解り易くお話がありました。又疑似体験用具を実際に参加者の皆さんに身につけていただき、体の不自由な方の気持ちの理解や接し方もていねいに説明がされました。

今後私達の生活の中でも介護事例が増えると思いますが、今回の講座は大変有意義なものであったと思います。講師の栄森様、中村様誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



夏コンサート

教育・育成部会
浅井 広己

七月二日(土)に行なわれた演奏会ですが、初めてのスチールパンに依る演奏会で馴染みがなかったのか?聴衆の少なさが、とても残念でした。全国的に活躍している「ワイワイ スチール バンド」ということもあり、空席は意外でした。カリブ生まれの、ドラム缶を半分に切った様な楽器ですが、其処から生まれる明るく開放的な音色の素晴らしさは、梅雨の鬱陶しさを吹き飛ばしてくれました。その音色を是非聴いて頂きたかった。伊澤陽一氏を代表に結成された「スチールパンだけのアンサンブル」で活動を開始したバンド「セカンドアルバムお披露目ツアー」の合間を縫っての、山潟地区初ライブでした。伊澤さんの軽妙なおしゃべりと、解りやすく楽器の説明など、とても良い演奏会でした。できれば来年もこの声を帰りがけに掛けて貰いました。



とやの潟についての説明

去る七月十七日・十八日に二日間、とやの潟水上体験」とやの潟環境舟運」が行われ、山潟コミュニティ協議会も運営スタッフの一員として参加しました。

とやの潟上に作られた浮島に渡り、水上カフェの店員として、舟で渡って来られたお客様にコーヒーやジュース、カルピスなどでおもてなしする役割です。船酔いするのではと思いましたが、浮島はしっかりと作られていて、思っ

とやの潟環境舟運



浮島風景

たより揺れず船酔いせずに済みました。

とやの潟から見る風景は、普段決して見ることの出来ないもので、大変素晴らしいです。また、お客様の皆さんも、とやの潟で取れた魚を見て大変喜んでいました。

また、来年もこの様な企画を考え、実行して頂きたいと思いました。

第九回山潟コミ協 写真コンテスト



1. 募集期間
平成二十八年十一月十七日
〜平成二十九年一月三十一日
2. テーマ
山潟地区の自然やまちなみ等の風景、まつりや行事・コミュニティ活動等
3. 応募資格
山潟地区内の居住者
4. 募集規定
作品サイズは、A4、四つ切ワイド四つ切(↓A4が好ましいです)
(※小中学生の部はハガキサイズ(2Lでも可))
作品は未発表のものに限ります。
作品は原則返却しませんが、入選外で返却希望の方はお知らせ下さい。
5. 募集方法
また、著作権は主催者に帰属します。
5. 写真の裏に「氏名・(学年)住所・電話番号」「題名」「撮影場所やコメント」を貼って、山潟会館内山潟コミ協事務局へ直接持参するか郵送で
6. 発表
三月上旬(予定) 入賞作品は山潟会館等に展示します
7. 主催
山潟地区コミュニティ協議会(長潟八一七山潟会館内)
☎一八六〇一五五
(お問い合わせ まちづくり部会 松田 ☎一八六一九八四)